

京丹後市立病院改革プラン

指標に対する評価

(令和2年度 収支計画・実績)

久美浜病院

◆指標(数値目標)に対する評価

【久美浜病院】

1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化に関する指標				(2)通所リハビリテーション利用者数			
(1)訪問看護者数			単位:人	(2)通所リハビリテーション利用者数			単位:人
	計画	実績	自己評価		計画	実績	自己評価
H29	4,600	4,874	A	H29	4,280	4,107	B
H30	4,630	6,046	A	H30	4,290	3,974	B
R1	4,650	7,025	A	R1	4,300	4,182	B
R2	4,680	8,505	A	R2	4,310	3,993	B
<p><R2状況等> 新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、在宅療養への需要が高まったことを受けて、人員を1名増員して受入体制を強化したことで、利用者の大幅な増加となった。</p>				<p><R2状況等> 新型コロナウイルス感染症の影響により利用控えもあったが、利用者が安心して利用できるよう感染対策を行い、患者サービスの向上と接遇の向上に努めた。</p>			
2. 経営の効率化に関する指標							
(1)収支改善に係るもの							
①経常収支比率(医業収益+医業外収益/医業費用+医業外費用)			単位:%	②医業収支比率(医業収益 / 医業費用)			単位:%
	計画	実績	自己評価		計画	実績	自己評価
H29	100.7	95.0	B	H29	94.9	88.9	B
H30	102.3	99.4	B	H30	96.9	93.5	B
R1	103.3	100.2	B	R1	98.4	94.5	B
R2	104.0	98.5	B	R2	99.4	87.1	B
<p><R2状況等> 国の財政措置基準の改定による一般会計繰入金が増額があったが、内科医師が1名減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少したため医業収益が大きく減少し、計画には届かなかった。</p>				<p><R2状況等> 新たな施設基準の取得や感染対策を徹底しながらの手術件数の確保等により診療単価は増加したが、内科医師の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少したため医業収益が大きく減少し、計画には届かなかった。</p>			
(2)経費削減に係るもの							
①材料費対医業収益比率(材料費 / 医業収益)			単位:%				
	計画	実績	自己評価				
H29	13.3	12.1	A				
H30	13.2	13.0	A				
R1	13.1	13.8	B				
R2	13.0	13.7	B				
<p><R2状況等> 医療コンサルタントを通じて薬品の共同購入やSPD業者及び卸会社や各薬品メーカーとの値引き交渉により経費の削減に努めたが、全国的な薬品値引き率の低下による値引額の減少と感染防止物品の高騰により診療材料費が増加し計画を下回った。また、患者数が減少した中でも手術件数を維持したことで、診療材料の使用量が減少することがなかったことも影響した。 ※SPD…医療消耗材料など全ての物品を管理する業務</p>							

◆指標(数値目標)に対する評価

【久美浜病院】

(3) 収入確保に係るもの

① 1日当たり入院患者数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	157	149	B
H30	160	152	B
R1	161	148	B
R2	161	127	C

<R2状況等>

内科医師の減少と、新型コロナウイルス感染症の影響により他院からの受入れ制限など、入院患者数が減少した。

内科医の招へいに努めるとともに、地域連携機能をさらに強化し、他施設からの入院患者の受け入れを図る。

③ 病床利用率

単位:%

	計画	実績	自己評価
H29	92.4	87.6	B
H30	94.1	89.2	B
R1	94.7	86.8	B
R2	94.7	74.7	C

<R2状況等>

内科医師の減少と新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者数(特に内科・小児科の入院患者)が伸びなかった。

内科医の招へいに努めるとともに、地域連携機能をさらに強化し、他施設からの入院患者の受け入れを図る。

② 1日当たり外来患者数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	342	307	B
H30	352	316	B
R1	359	319	B
R2	366	285	C

<R2状況等>

内科医師の減少と、新型コロナウイルス感染症の影響により受診控えや長期処方の実施等により、患者数は計画を達成できなかった。

今後も継続して医師の招へいに努め、診療体制の充実を図る。

(4) 経営の安定性に係るもの

① 常勤医師数 ※年度末人数

単位:人

	計画	実績	自己評価
H29	18	17	B
H30	19	17	B
R1	19	17	B
R2	19	16	B

<R2状況等>

関係大学に対し積極的に医師の招へい活動を行ったが増員は実現しなかった。

引き続き、招へい活動を継続しつつ、民間人材バンク等も活用し常勤医増員を目指す。

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

区分		年度												
		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	元年度 (実績)	2年度 (計画)	2年度 (実績)
収	1. 医業収益 a	2,258	2,326	2,384	2,295	2,313	2,536	2,331	2,646	2,507	2,726	2,544	2,792	2,327
	(1) 料金収入	2,003	2,077	2,131	2,022	2,048	2,283	2,081	2,391	2,255	2,470	2,275	2,535	2,079
	(2) その他	255	249	253	273	265	253	250	255	252	256	269	257	248
	うち他会計負担金	173	165	163	183	178	163	164	163	172	163	196	162	181
	2. 医業外収益	169	296	285	265	266	273	259	268	261	255	260	249	408
	(1) 他会計負担金・補助金	141	148	138	136	142	135	118	134	114	130	114	126	218
	(2) 国（県）補助金	14	14	14	15	16	14	15	14	13	14	13	14	68
	(3) 長期前受金戻入	0	95	98	92	92	102	102	98	103	89	97	87	84
	(4) その他	14	39	35	22	16	22	24	22	31	22	36	22	38
	経常収益 (A)	2,427	2,622	2,669	2,560	2,579	2,809	2,590	2,914	2,768	2,981	2,804	3,041	2,735
入	1. 医業費用 b	2,467	2,566	2,558	2,474	2,485	2,671	2,622	2,730	2,680	2,769	2,692	2,809	2,671
	(1) 職員給与費 c	1,535	1,602	1,628	1,620	1,608	1,708	1,709	1,709	1,728	1,719	1,767	1,729	1,776
	(2) 材料費	334	312	294	255	273	337	282	348	327	357	350	363	319
	(3) 経費	433	439	425	410	415	428	434	464	435	496	410	525	436
	(4) 減価償却費	145	197	192	173	173	180	176	191	175	179	150	173	134
	(5) その他	20	16	19	16	16	18	21	18	15	18	15	19	6
	2. 医業外費用	102	117	111	115	105	118	104	118	106	118	107	115	106
	(1) 支払利息	57	53	49	45	45	40	40	36	36	31	31	26	25
	(2) その他	45	64	62	70	60	78	64	82	70	87	76	89	81
	経常費用 (B)	2,569	2,683	2,669	2,589	2,590	2,789	2,726	2,848	2,786	2,887	2,799	2,924	2,777
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 142	▲ 61	0	▲ 29	▲ 11	20	▲ 136	66	▲ 18	94	5	117	▲ 42	
特別損益	1. 特別利益 (D)	0	39	34	40	38	40	42	46	50	51	59	58	131
	2. 特別損失 (E)	0	92	2	0	0	0	0	0	3	0	3	0	69
	特別損益 (D)-(E) (F)	0	▲ 53	32	40	38	40	42	46	47	51	56	58	62
純損益 (C)+(F)	▲ 142	▲ 114	32	11	27	60	▲ 94	112	29	145	61	175	20	
累積欠損金 (G)	2,282	1,620	1,588	1,577	1,560	1,517	1,654	1,405	1,625	1,260	1,564	1,085	1,543	
不良債務	流動資産 (ア)	543	478	486	472	553	526	685	497	611	468	507	501	507
	流動負債 (イ)	303	409	453	456	512	465	773	365	729	266	659	227	717
	うち一時借入金	100	200	240	240	300	240	560	140	480	40	390	0	480
	翌年度繰越財源 (ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	当年度同意等償で未借入又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不良債務 (オ)	▲ 240	▲ 69	▲ 33	▲ 16	▲ 41	▲ 61	88	▲ 132	118	▲ 202	152	▲ 274	226	
差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]														
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.5	97.7	100.0	98.9	99.6	100.7	95.0	102.3	99.4	103.3	100.2	104.0	98.5	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 10.6	▲ 3.0	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 2.4	3.8	▲ 5.0	4.7	▲ 7.4	6.0	▲ 9.8	9.7	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	91.5	90.6	93.2	92.8	93.1	94.9	88.9	96.9	93.5	98.4	94.5	99.4	87.1	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	68.0	68.9	68.3	70.6	69.5	67.4	73.3	64.6	68.9	63.1	69.5	61.9	76.3	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額 (H)	▲ 240	▲ 69	▲ 33	▲ 16	▲ 41	▲ 61	88	▲ 132	118	▲ 202	152	▲ 274	226	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 10.6	▲ 3.0	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 2.4	3.8	▲ 5.0	4.7	▲ 7.4	6.0	▲ 9.8	9.7	
病床利用率	85.8	88.8	90.6	85.9	87.4	92.4	87.6	94.1	89.2	94.7	86.8	94.7	74.7	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	29年度	30年度	30年度	元年度	元年度	2年度	2年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)								
収	1. 企業債	174	113	126	78	78	162	107	100	12	102	74	67	31
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	162	0	165
	3. 他会計負担金	103	117	123	139	139	146	150	151	155	161	14	175	36
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	36	15	22	21	21	45	45	0	16	3	2	3	30
	7. その他	0	4	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	4
収入計 (a)	313	249	272	238	238	353	303	251	185	266	253	245	266	
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額	(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
前年度許可債で当年度借入分	(c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	313	249	272	238	238	353	303	251	185	266	253	245	250	
支	1. 建設改良費	214	130	152	110	102	208	155	100	31	105	98	70	69
	2. 企業債償還金	209	244	252	221	221	237	237	246	246	283	266	315	271
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	2	2	4	7	7	4	7	4	6	4	4	4	5
支出計 (B)	425	376	408	338	330	449	399	350	283	392	368	389	345	
差引不足額(B)-(A) (C)	112	127	136	100	92	96	96	99	98	126	115	144	95	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	16	▲59	86	60	100	106	0	168	0	195	0	213	0
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	14	15	15	23	0	29	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	30	▲44	101	83	100	135	0	168	0	195	0	213	0	
補てん財源不足額(C)-(D) (E)	82	171	35	17	▲8	▲39	96	▲69	98	▲69	115	▲69	95	
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額(E)-(F)	82	171	35	17	▲8	▲39	96	▲69	98	▲69	115	▲69	95	

1. 平成25年度までは旧会計基準による数値である。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	29年度	29年度	30年度	30年度	元年度	元年度	2年度	2年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(実績)								
収益的収支	(1)	(2)	(6)	(7)	(7)	(8)	(9)	(10)	(10)	(9)	(1)	(9)	(6)
	314	313	301	319	320	298	282	297	286	293	310	288	399
資本的収支	(2)	(0)	(9)	(22)	(22)	(25)	(32)	(30)	(41)	(30)	(61)	(30)	(83)
	103	117	123	139	139	146	150	151	155	161	176	175	201
合計	(3)	(2)	(15)	(29)	(29)	(33)	(41)	(40)	(51)	(39)	(62)	(39)	(89)
	417	430	424	458	459	444	432	448	441	454	486	463	600

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。